

2022年11月10日

各位

会社名 アライドアーキテクト株式会社
 代表者名 代表取締役 CEO 中村 壮秀
 (コード番号: 6081 東証グロス)
 問合せ先 財務経理部長 武田 周平
 (TEL 03-6408-2791)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2022年2月10日に公表いたしました2022年12月期の業績予想を、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,600	百万円 850	百万円 850	百万円 未定	円 銭 未定
今回修正予想 (B)	4,600	1,020	1,150	830	58.69
増減額 (B - A)	0	170	300	—	—
増減率 (%)	0.0%	20.0%	35.3%	—	—
(参考) 前期実績 (2021年12月期)	6,210	774	849	726	41.34

(注)

- 第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、前期実績の売上高は適用前の金額です。
- 親会社株主に帰属する当期純利益の業績予想につきましては、当社が保有する投資有価証券の売買損益や評価損等が発生する場合には影響を及ぼすこととなるため、その不確実性を考慮し、期初の通期予想発表時は非開示としておりました。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は830百万円と、前期実績726百万円に対して14.2%増となる見込みです。

2. 修正の理由

当第3四半期連結累計期間においても新型コロナウイルスによる業績へのマイナスの影響はなく、むしろコロナ禍をきっかけとしたマーケティングDXの需要拡大は当社にとって追い風となっており、当社連結業績は海外SaaS事業が牽引する形で好調な推移を続け、5四半期連続で過去最高売上を更新しております。

今後の飛躍に向けて「プロダクト・サービスを磨き上げ、グループ成長力の更なる向上」を今期2022年12月期テーマとして掲げ、人材を中心に積極的な成長投資を実施しておりますが、クリエイターのインハウス化がハイペースで進んだ海外SaaS事業の収益性向上等により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は想定を上回る推移となりました。また、同期間における経常利益につきましては、為替相場が大きく円安に推移したことにより243百万円の為替

差益を計上し、期初予想の 850 百万円を超過する 969 百万円で着地いたしました。これらの業績状況を鑑み、営業利益・経常利益の通期予想を上記のとおり上方修正いたします。

一方、売上高については順調に推移しているものの、通期業績予想に対する当第 3 四半期連結累計期間の進捗率が 72.8%と例年同程度となっていることから期初予想を据え置きといたします。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、期初の段階では特別損益の発生による業績変動の不確実性を考慮し非開示としておりましたが、第 3 四半期連結累計期間までの経常利益の進捗及び特別損益の発生状況(暗号資産売却損：8 百万円、投資有価証券売却益：40 百万円、投資有価証券評価損：19 百万円)を勘案し、通期予想を上記のとおり開示することといたしました。

当社グループは、中長期的なテーマとして掲げる「マーケティング DX 支援企業として圧倒的ポジションの確立」に向けて、今後も企業価値の向上を目指し、グループ一丸となって尽力してまいりますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上